

福山市総合戦略の取組状況について

福山市総合戦略の概要

1 総合戦略の策定

2014年12月

- まち・ひと・しごと創生総合戦略 閣議決定
(計画期間:2015年度～2019年度)

2015年10月

- 福山市総合戦略の策定 (計画期間:2015年度～2019年度)
- 福山市人口ビジョンの策定(目標期間:2060年)

※本市における人口の現状を分析し、人口の将来展望を示すものであるとともに、福山市総合戦略の施策を企画・立案する際に基礎となるもの

2 総合戦略の推進体制

◆ 福山市総合戦略推進懇話会

福山市総合戦略、福山市人口ビジョンの策定・変更、総合戦略に基づく施策の実施及び検証するために設置(各種団体の代表で構成)

◆ 福山市総合戦略推進会議

福山市総合戦略推進懇話会の意見に基づく具体的な連携の検討・調整、地方創生関係交付金の効果検証等のために設置(各種団体の事務局で構成)

3 総合戦略推進に向けた4つの視点

視点1

安定した雇用を創出する

- (1) ものづくり産業の競争力強化
- (2) 第一次産業の活性化
- (3) 若者定着の促進と安定した雇用の創出
- (4) 高等教育機能の強化

視点2

魅力を高め、新しいひとの流れをつくる

- (1) 観光振興
- (2) 地域振興

視点3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1) 結婚の支援
- (2) 出産・子育ての支援

視点4

安心・安全に暮らし続けることができる地域をつくる

- (1) 医療・福祉サービスの充実
- (2) 健康づくり
- (3) 時代に対応したまちづくり
- (4) 地域を支える人材育成

福山市総合戦略の取組状況

「3. 総合戦略推進に向けた4つの視点」に基づき、国の地方創生関係交付金を活用する中で、単市又は備後圏域を対象とした施策に取り組む。

視点1

安定した雇用を創出する

成果

- ◆ 中小企業支援・創業支援拠点の設立
- ◆ 地域経済の活力につながる資源の磨き上げ

(1) ものづくり産業の競争力強化

【主な施策】

- 福山ビジネスセンターサポートセンターFuku-Bizの運営
- デニムプロジェクトの実施

(2) 第一次産業の活性化

【主な施策】

- 水産物ブランド化推進事業(備後フィッシュ)
- 備後ワインプロジェクトの実施

(3) 若者定着の促進と安定した雇用の創出

【主な施策】

- 若年者就職支援事業(出前講座, 企業見学会など)

(4) 高等教育機能の強化

【主な施策】

- 備後圏域グローバル人材育成事業
- 官民協働留学支援(トビタテ! 留学JAPAN)

視点2

魅力を高め、新しいひとの流れをつくる

成果

- ◆ 兼業・副業、ワーケーションなど新しい働き方による新たな交流人口の増加
- ◆ リノベーションによるまちの魅力向上

(1) 観光振興

【主な施策】

- 備後圏域タクシー観光キャンペーンの実施

(2) 地域振興

【主な施策】

- 戦略推進マネージャーの活用(兼業・副業限定の高度専門人材)
- ワーケーション福山(新しい働き方の実践)
- リノベーションスクールの実施(リノベーションのまちづくり)

視点3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

成果

- ◆ 福山ネウボラの創設
- ◆ 子育てに係る経済的負担の軽減
- ◆ 小児救急医療体制の確保

(1) 結婚の支援

【主な施策】

- ふくやまde愛サポーターの活動支援(婚活caféの開催)

(2) 出産・子育ての支援

【主な施策】

- 相談窓口「あのね」を中心とした切れ目のない子育て支援
- 子ども医療費助成の拡充
- 岡山大学と連携した寄付講座(小児急性疾患学講座)の設置

視点4

安心・安全に暮らし続けることができる地域をつくる

成果

- ◆ 広島県、岡山県との医療連携の促進
- ◆ 広域的な都市基盤の整備

(1) 医療・福祉サービスの充実

【主な施策】

- 看護師の養成・確保(福山府中二次保健医療圏の看護専門学校等への運営費補助, ナースセンターサテライトの設置)
- 地域包括ケアシステムの構築(郵便局と連携した高齢者の見守りなど)

(2) 健康づくり

【主な施策】

- ふくやま健康・食育市民会議(フクイク21)の開催

(3) 時代に対応したまちづくり

【主な施策】

- 地域公共交通再編実施計画の検討
- 地域防災を担う人材の育成(防災リーダーの育成など)

(4) 地域を支える人材育成

【主な施策】

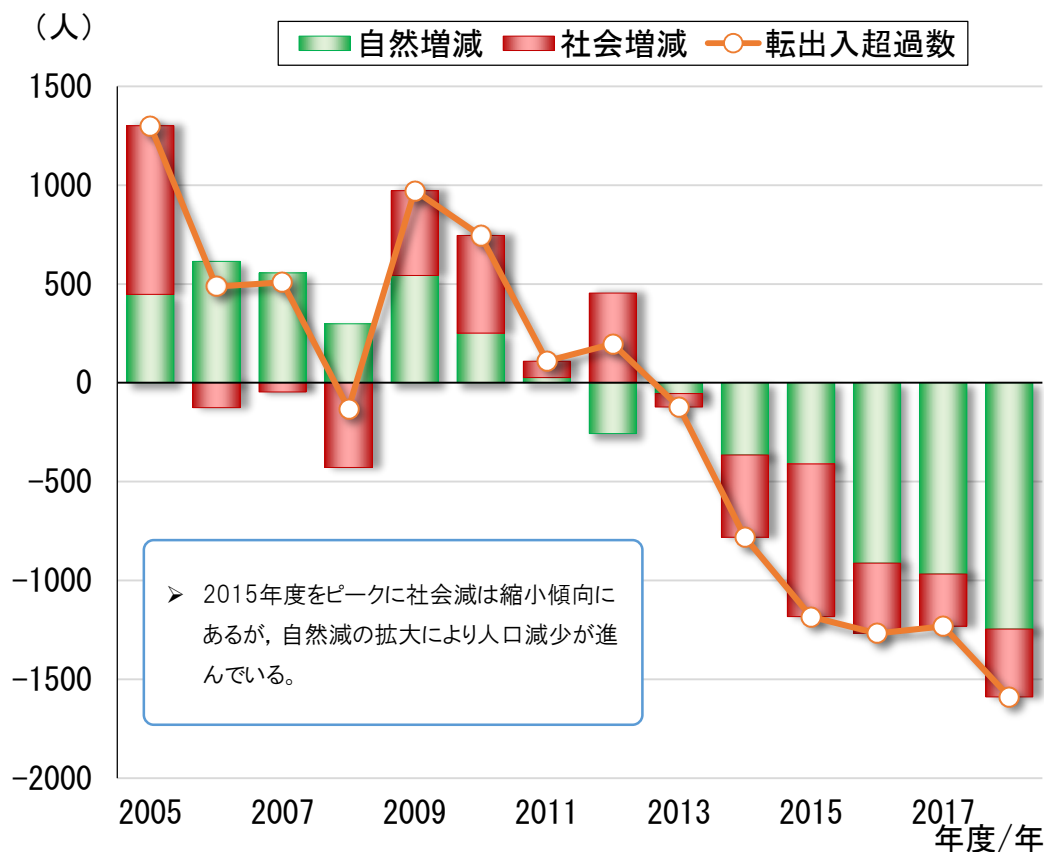
- 福山100NEN教育の推進(自ら考え学ぶ授業づくり)
- 土曜チャレンジ教室の実施

福山市総合戦略の取組状況

○ KPIの状況

福山市総合戦略記載の数値目標			実績等 (カッコ内は 最新の年)
数値目標	基準値	目標値	
達成 市内従業者数	206,888人 (2012年)	210,000人 (2018年)	213,750人 (2016年)
未達成 福山市への 転入超過	▲379人 (2014年)	300人 (2019年)	▲260人 (2018年)
達成 総観光客数	6,758千人 (2014年)	7,100千人 (2019年)	7,162千人 (2018年)
未達成 出生数	4,232人 (2014年)	現状維持 (2019年)	3,964人 (2017年)
未達成 合計特殊出生率	1.73 (2013年)	1.81 (2017年)	1.67 (2017年)

福山市の人口動態



○ KPIや人口動態を踏まえて

➢ 福山市への転入超過や出生数の減少が続いており、人口減少対策に係る施策の強化が必要である。

【人口減少対策を優先的に実施】

- 2018年8月 「新たな人口減少対策～強化策～」の策定
- 2018年12月 人口減少対策検討部会の設置・議論
- 2019年4月 「新たな人口減少対策アクションプラン2019」の策定
- 2019年4月 みんなのライフスタイル応援会議の設置・議論

新たな人口減少対策では、データに基づき、進学・就職や結婚・出産など人生の転機ごとに**9つの人物像**を設定し、産業界や金融機関、大学、市民代表と連携して、まずは現役世代を減らさない取組を進めます。

ペルソナ

2040年の 目標

多様なライフスタイルが 実現できるまち

チャレンジへの選択肢がたくさんある

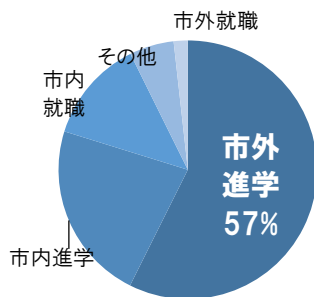
希望のライフスタイルへのサポート

多様性を尊重しあえる心

ライフステージごとの課題

進学時

高校生の進学/就職状況



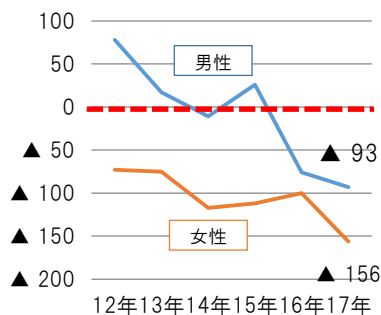
出所: 広島県学校基本調査, 高校生進学先調査(福山市)から作成

進学時の転出超過

- ・高校生の約6割が市外に進学(うち4割が大学)

就職期

(人) 20~24歳 転出入増減



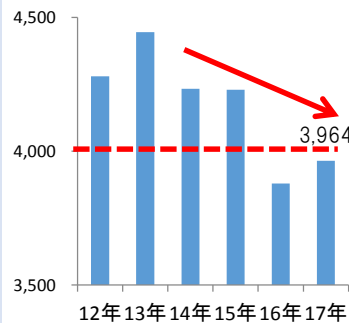
出所: 住民基本台帳を基に作成

就職期における転出超過

- ・20代前半で転出が増加傾向, 20代後半以降で外から呼び込む力が低下

結婚・出産

(人) 出生数



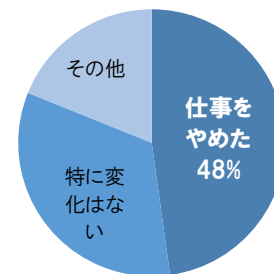
出所: 厚生労働省「人口動態調査(確定数)」から作成

出生数の減少

- ・出生数が4,000人を下回る
- ・2012年以降, 自然減が継続

子育て

結婚や出産後の仕事の変化



出所: 「市政に対するニーズ把握のための定量調査(WEBアンケート)」から作成

子育てと仕事の 両立に対する負担

- ・5割の女性が結婚や出産を機に退職

1 政策ターゲット(9つの人物像)の設定

人口減少対策を **3つのターニングポイント** と **4つのライフスタイル** で捉える



ターニングポイント (社会増減) 進学 就職 移住

ライフスタイル 専業主婦(夫) 共働き(子どもあり) 共働き(子どもなし) シングル

9つのペルソナを設定

2019年度に重点的に取り組むペルソナ

福山で暮らす“未来を描く”



① 高3進学女子

市内企業の認知度向上と郷土愛の醸成
市内の教育機能の向上
と定住促進



企業と学生が“出会う”



③ 就活大学生

市内企業とのマッチング強化



子どもの成長に“幸せ”を感じる



⑤ 子育て共働き女性

ネウボラを中心とした子育て支援の充実
子育てと仕事の両立推進

妊娠・出産・子育ての“不安解消”

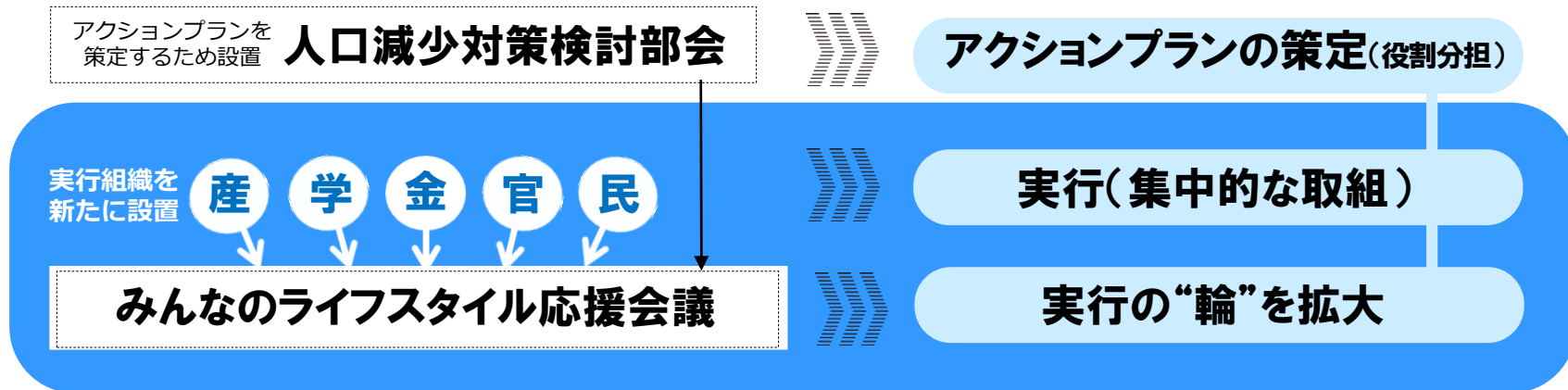


⑥ 共働き夫婦

妊娠・出産・子育てへの
切れ目のない支援
妊娠と仕事の両立推進

2 推進体制の構築

産学金官民で役割分担、そして、チャレンジ!



3 みんなのライフスタイル応援会議の取組

みんなのライフスタイル応援会議委員が主体となり実施する取組を「みんなのライフスタイル実現プログラム」として『活動宣言書』にまとめ、民間主体での取組を推進します。

◆ みんなのライフスタイル実現プログラム

(1) 企業力向上プロジェクト

(目的) 働き方改革の推進や採用力強化等を通じて強い組織づくりを行い、市内企業で働きたいと思う若者を増やし、企業の人材確保につなげる。

(概要) 企業が主体的に研究会を立ち上げ、有識者との事例研究やディスカッションを行う。

(2) 企業・地域がつながる空間づくり

(目的) 企業・地域が有機的につながる空間を構築し、賛同の“輪”を拡大させる。

(概要) 企業・団体が共通のテーマを通じて出会い、つながることができる空間を構築する。

(3) 子育て/パパ活躍ウィーク

(目的) 男性の子育てに関わる意識の醸成、女性の心身のリフレッシュにつなげる。

(概要) 男性が子育てに参加できる取組の実施するとともに、企業は従業員の休暇取得・早めの退社を促進し、子育てに関わる機会を創出する。

參考資料

(国)まち・ひと・しごと創生 総合戦略

第1期(2015年度～2019年度)からの枠組

4つの基本目標

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【地方創生版・三本の矢】情報支援, 人材支援, 財政支援

第2期(2020年度～2024年度)から変更

基本目標

- ・従来の枠組については維持
- ・基本目標「地方へのひと・資金の流れをつくる」の取組強化

新たな視点

重点をおいて施策を推進

1. 地方へのひと・資金の流れを強化する
2. 新しい時代の流れを力にする
3. 人材を育て生かす
4. 民間と協働する
5. 誰もが活躍できる地域社会をつくる
6. 地域経営の視点で取り組む

○ 第2期における新たな視点

1. 地方へのひと・資金の流れを強化する

- ◆ 将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大
- ◆ 企業や個人による地方への寄付・投資を用いた地方への資金の流れの強化【例:企業版ふるさと納税, 地方拠点強化税制など】

2. 新しい時代の流れを力にする

- ◆ Society5.0の実現に向けた技術の活用
- ◆ SDGsを原動力とした地方創生

3. 人材を育て生かす

- ◆ 地方創生の基盤をなす人材の掘り起こし・育成
- 【例:地方創生の担い手組織の見える化, ノウハウの横展開】

4. 民間と協働する

- ◆ NPOなどの地域づくりを担う組織や企業との連携

5. 誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ◆ 女性, 高齢者, 障害者, 外国人など, 誰もが居場所や役割を持ち, 活躍できる地域社会の実現

6. 地域経営の視点で取り組む

- ◆ 地域の経済社会構造全体を俯瞰した地域のマネジメント
- 【例:スマートシティ, Maasなどの推進】

今後強化していく取組① ワーケーションふくやま

●目的

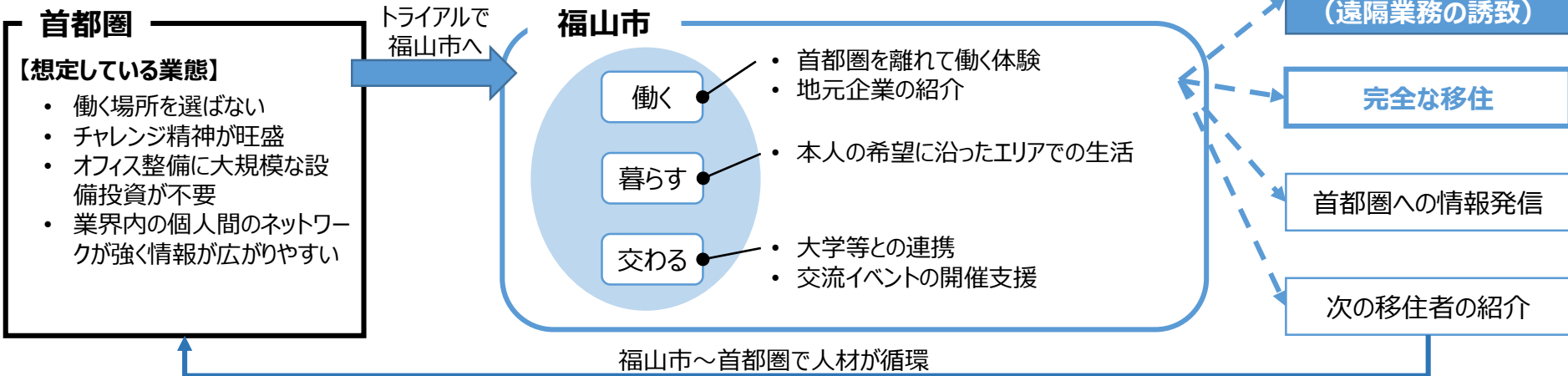
首都圏等の企業が一定期間、福山市に拠点を移し、業務を行うことで、福山で働く・暮らすことの魅力を体験する。生産性やQOLの向上が実現できるまちとしてのイメージの効果的な情報発信を通じて、移住や首都圏の人材・企業の誘致につなげる。

●期間

短期（1週間程度）、中期（半年～1年）

●事業イメージ

- ① **移住体験**：首都圏等の人材に福山で働き・暮らし・交流する体験の場を提供
- ② **情報発信**：首都圏等の人材による移住体験を基にした福山での暮らしの情報発信
- ③ **交流**：拠点を移した企業と福山の企業・大学との交流を通じた人材育成やビジネスチャンスの創出



●本市が目指すワーケーション

- 一般的な「ワーケーション」はワーク（仕事）とバケーション（休暇）の造語
- 福山市では、バケーションだけではなく、「ワーク+コミュニケーション」及び「ワーク+イノベーション」などを含む『Work+～tion』を目指す。

●ロードマップ

	2020年度	2021年度
福山市	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 既存事業の整理による体験者へのサポートメニューの提供 ✓ 情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ワーケーションの福山市というイメージの確立・発信 ✓ 過去体験者のフォローアップ
体験者	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 体験者によるワーケーションのモデルケースづくり ✓ ネットワークを通じた情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 体験者によるワーケーションのモデルケースづくり ✓ ネットワークを通じた情報発信

ワーケーションふくやまの展開

短期(1週間程度)

福山駅前・鞆町 等

concept :

リノベーションのまちづくりでの交流のほか、鞆の浦の町並みや海など、首都圏人材が、新たなアイデアのヒントが生まれる環境を提供する



ターゲット

- ・ 首都圏等のクリエイティブ・IT企業 (団体・個人)

住まい

- ・ 鞆町内宿泊施設 (ホテル・ゲストハウス等)
- ・ 福山駅前 (賃貸物件等)

働く場

- ・ 鞆町内施設
- ・ 駅前コワーキングスペース

交流

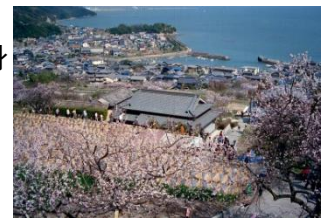
- ・ 地元企業 (青年部など) , 市内大学等

中期(半年~1年)

田尻町

concept :

身近に海, 山など瀬戸内の自然を体感しながら業務を行い, 心身のリフレッシュにつなげる。また, 地域住民と触れ合いながら, 地方暮らしを満喫する。



ターゲット

- ・ 首都圏等のクリエイティブ・IT企業の従業員 (個人)

住まい

- ・ 地域内物件

働く場

- ・ 駅前コワーキングスペース
- ・ 住まいで兼用

交流

- ・ 地域の小中学生 (イベント等への参加)
- ・ 地元企業 (青年部など) , 市内大学



今後のスケジュール(予定)

~2019年12月 (仮称)ワーケーションふくやま推進研究会の立ち上げ

- ・ 戦略推進マネージャー, 福山商工会議所青年部, 関係企業 (不動産会社, コワーキングスペース運営会社等), 地域関係者 等

2020年4月 ワーケーションふくやま本格実施(体験企業等の募集)

- ・ サポートメニューの提供 (体験に必要な経費の一部を助成 等)

2019年度実施状況

- ・ 9月2日体験開始 (2020年3月まで体験予定)

【場所】 田尻町 (海辺の物件)

【体験者】 首都圏のクリエイティブ・IT関連企業で働くクリエイター2人



今後強化していく取組② まるごと実験都市ふくやま

官民連携プラットフォーム

先端技術によるまちづくり官民協議会



企業・大学などと連携して、まちづくりへの先端技術活用を推進

豊富な実証実験エリア

- JR福山駅を中心とした**中心市街地**
(駅から徒歩5分に**実証実験の実績がある公園**)
- 中心部にある広大な**競馬場跡地**
- 漁業などの盛んな**島嶼部・離島**
- 高齢化や過疎化の進む**中山間地域**
- 鞆の浦に代表される**観光地**
- 福山大学など適度な広さの**大学**
- 近郊の**オールドニュータウン**
- 大小様々な**ため池**や**一級河川**
- 全国的にも多い**高齢者施設**や**保育所**
- 福山城を始めとする**福山駅北側の文化ゾーン**
- 国内唯一のボルネオゾウを飼育する**福山市立動物園**

これまでの取組実績

- 自動走行運転
- オンデマンドモビリティサービス
- GPS・アプリによる解錠装置搭載の電動キックボード
- マイナンバーカードを活用した「ばらのまち福山ポイント」
- 5Gを見据えた基地局収容型LED街路灯
- 5Gドローンを用いたバーチャル飛行体験
- 指静脈認証によるキャッシュレス決済
- スマートフォンを活用した医療情報管理サービス など 全17事業

乗合タクシー 実証実験



オンデマンドタクシー導入に向け、効率的な運行方法や利便性を検証(MONETと連携)

グリーンスローモビリティの導入



5Gとドローンを用いたバーチャル飛行体験



電動キックボード 実証実験

